

- ・ PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ペツルは製品の使用期間を通し、12 ヶ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
  - ・ PPE の点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。
- 点検に関する資料はペツルのウェブサイト [PETZL.COM](https://www.petzl.com) からダウンロードできます。

## セルフジャミングプーリー

### 1. 製品履歴の把握

異常な劣化が認められる PPE は、詳細点検を受けるまで隔離する必要があります。

ユーザーは以下の事を行う必要があります：

- 使用状況に関する正確な情報を記録する
- PPE に生じた特殊な事象を全て記録する

(例：用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等)

### 2. 予備的観察

個別番号と CE マークが付いていることおよび判読できることを確認してください。

備考：製品記載の個別番号のコード体系は変更されています。コード体系は2種類あります。それぞれのコード体系は以下を参照してください。

コード A:

00 000 AA 0000

製造年  
製造日  
検査担当  
識別番号

コード B:

00 A 0000000 000

製造年  
製造月  
製造番号  
識別番号

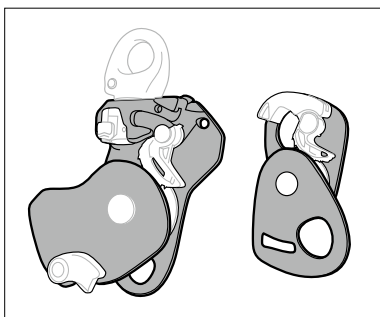
耐用年数が過ぎていることを確認してください。

新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびパーツが欠損していないことを確認してください。

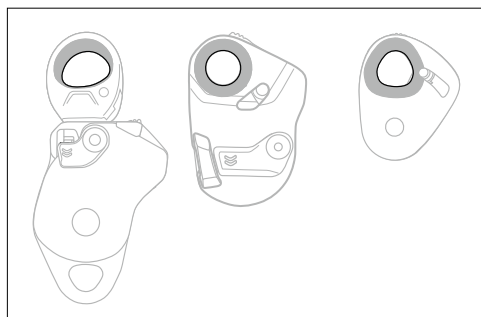
備考：コード B の製造月は1文字のアルファベットで表記されています。A = 1月、B = 2月、C = 3月等

### 3. 可動サイドプレートの状態の確認

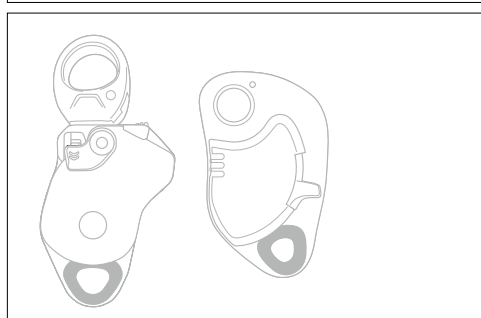
- ・ 可動サイドプレートの状態 (変形、ひび、傷、摩耗、腐食など) を確認してください



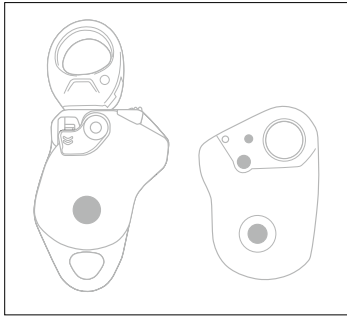
- ・ アタッチメントホールの状態 (変形、ひび、傷、摩耗、腐食等) を確認してください。



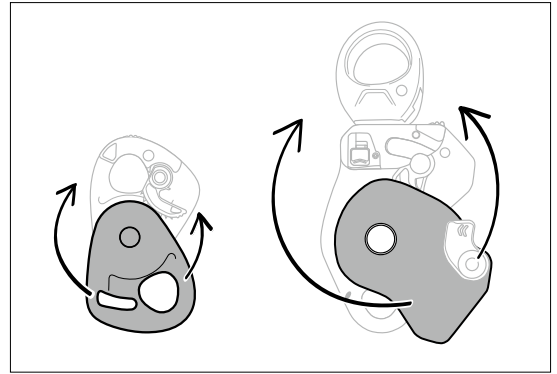
- ・ 補助アタッチメントホール付きのモデルはその状態 (変形、ひび、傷、摩耗、腐食等) を確認してください。



・リベットの状態 (変形、ひび、傷、摩耗、腐食、遊びの不足等) を確認してください。

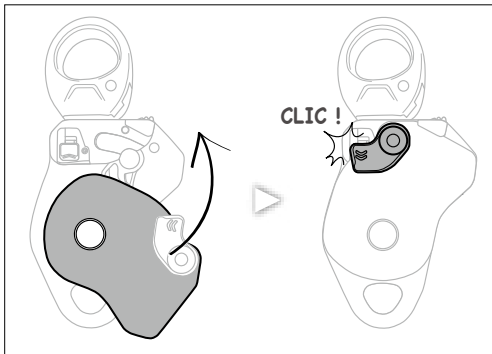
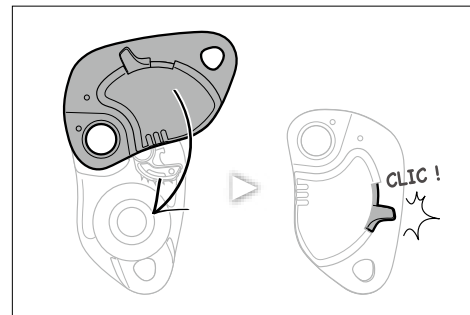
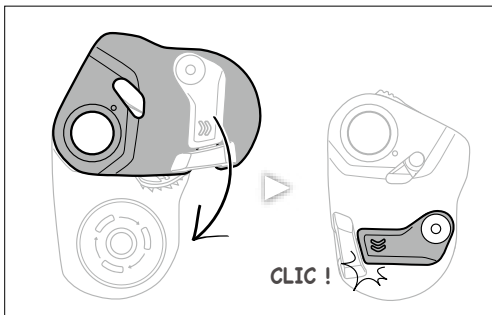


・サイドプレートが正しく回転することを確認してください。



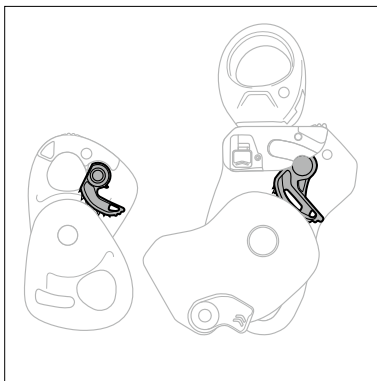
#### 4. サイドプレートの開閉とロックシステムの確認

・ロックシステムの状態と機能 (変形、ひび、傷、摩耗、汚れ、スプリングの戻り等) を確認してください。

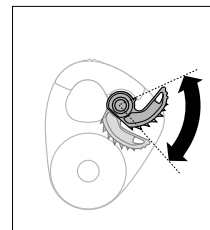


#### 5. カムの点検

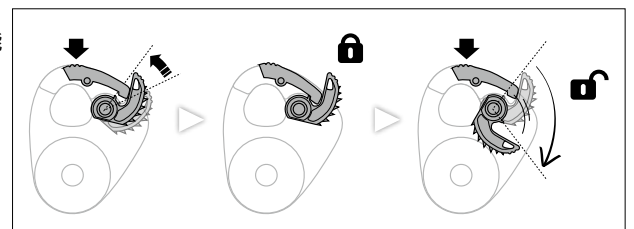
・ゲートの状態 (変形、ひび、傷、摩耗、腐食、異物の混入等) を確認してください。歯が欠けていないことを確認し、その磨耗具合を点検してください。歯に汚れが付いていない状態にしてください。必要に応じて、ブラシで清掃してください。



・カムの回転およびスプリングの戻りを確認してください。

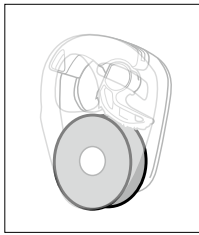


・カムのキャッチが適切に機能することを確認してください。

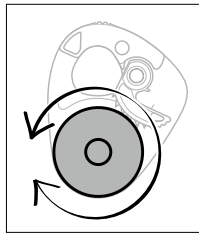


## 6. 滑車の点検

・ 滑車の状態 (変形、ひび、傷、摩耗、腐食、異物の混入等) を確認してください。



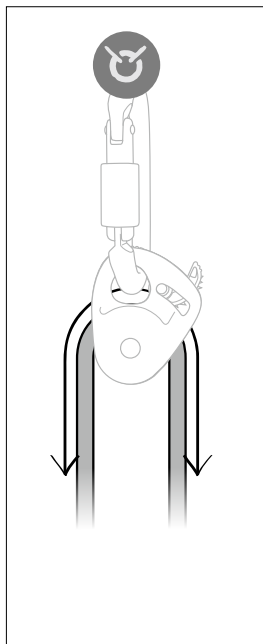
・ 滑車が両方向にスムーズに回転することを確認してください。



## 7. 機能確認

・ ブーリーをアンカーに取り付け、滑車にロープをセットしてください。

・ カムの機能を解除した状態で、ロープを両方向に動かしてください。



・ カムの機能を有効にした状態で、ロープが一方向には動き、反対方向には動かないことを確認してください。

